

## 岩手県環境審議会 第3回循環型社会計画策定特別部会 議事録

日時：令和2年11月19日（木） 13時30分から14時30分まで

場所：岩手県水産会館 5階 大会議室

### 議事1 第三次岩手県循環型社会形成推進計画（第五次岩手県廃棄物処理計画・岩手県ごみ処理広域化計画）基本的方向（答申案）について

#### (1) 資料2（第2回循環型社会計画策定特別部会等における委員意見一覧）

- （笹尾部会長）前回部会以降に提出された意見への対応を中心に御説明いただきました。それに付随してこの間のコロナ禍の影響についてデータ等も含めてまとめた資料を提供いただいております。確認ですけれども、「3 その他のメール」等での意見というのは、環境審議会委員からの意見ですか。  
（事務局）おっしゃるとおりです。会場での御発言であれば資料2の大きな2番にまとめるところですが、直接事務局にメールで当該委員の方から頂戴したものでしたので、分けて記載させていただきました。
  
- （佐藤委員）資料2の6ページのところなのですが、外食やホテル等から排出されるごみにより事業系ごみの排出量が減少したというのが1つと、リモートワークや在宅勤務で事業所から排出されるごみの量が減少したとありますが、あまりリモートワークや在宅勤務というのは岩手県内にそこまで普及していなかったと思います。というよりも、売上げの減少であるとか、設備投資の減少であるとか、そういった部分での事業活動の縮小に伴うごみの量の減少ということかもしれません。これは、完全な推測なのですが、少なくとも中小企業の中でリモートワークや在宅勤務を行った、その結果ごみの量が減った、という報告は出ていません。実際やっているところもあると思うのですが、推測ですからよいのですが、このあたりの表現がどうかと思います、質問させていただきました。  
（事務局）市町村に対して御意見として伺って、担当者からの直感的な感覚による回答もあったかもしれませんが、その御意見を聞き取ったものを集約して文章化したものですので、私どもとしても、真実なのかどうかというところは推察でしかないというのは正に御指摘のとおりです。このページは公表に当たり伏せさせていただいた方がよろしいでしょうか。こちらの資料も基本的には公表するということが原則となっておりますので、このまま公表すると事業者の方で、「実際は違う」ということもあるかもしれません。  
（事務局）あくまで市町村の方からいただいた感覚的な御意見ですので、そのようなものとして受け止めていただければと思いますが。

(笹尾部会長)「在宅勤務の実施『等』…」という表現とするのはどうでしょうか。例えば、大学もオンラインで授業をやっていて、確かにそれで学生が大学に来なくなって、事業系廃棄物が減っているということもあると思うので、多少影響はあるのではないかなと思います。ただ、佐藤委員がおっしゃったように経済的な要因もあると思いますので。

(事務局)これから国の方で考察が出てくるかもしれませんが、そうしたものを確認しつつ、今回は、部会長からの御指摘にありましてとおりの、「実施『等』…」ということで他の要因の可能性も残した表現で公表させていただきたいと思います。

(前田委員)同じような話で恐縮なのですが、生活系ごみのところで、「6月に特別定額給付金が給付されて、消費活動が活発になった…」という記載は客観的な事実というか、どこかから引用してきた記載なのでしょう。個人的には、外出が自粛されて、テイクアウトのものが増えて、それで本来であれば事業系で出てくるようなものが生活系で出るようになったという考え方も出来なくないと思うのですが、容器もありますし、中身も店内食であれば事業系廃棄物で出るにも関わらず、持ち帰れば生活系で出てしまうので、本当に消費が活発になったかということも含めて語弊がある表現かなという印象を受けます。

(事務局)御指摘のとおり、「消費活動が活発になったため」ということに絞った表現ですと、裏付けがないというのはその通りのところもあります。

(事務局)これについては新聞にも出ているので、上段の「家庭内で片づけたごみ」ですとか、外出自粛によるごみの増加というのは、確かに皆さん意識していると思いますが、「定額給付金…」に続く記述は今回削除させていただきます。こちらの方も市町村の方からの聞き取りではそういう話もあったのですが、単純に結びつけていいのかという疑問もありますので、削除させていただきます。

- (笹尾部会長) 資料2の意見対応表の4ページの2番目のところだけ「答申案」ではなく「本文」となっていますが、資料が公表されるということだったので、これでよいか確認です。整合性をとっていただければと思います。

(事務局)御指摘のとおりです。県ホームページでの公表時には修正いたします。

## (2) 資料3 (答申案の概要) 及び資料4 (答申案) について

- (森田委員) 一つ確認なのですが、この計画は廃棄物処理計画、そして岩手県ごみ処理広域化計画である、という方向性は理解しています。しかし、前回までは資料編は示されていなかったと思っていましたが、資料編の中には「ごみ処理広域化に関する資料」というのがあります。これは、見比べてみますと平成30年3月に県が策定した「岩手県ごみ処理広域化指針」とほぼ同じ内容ということになると思います。そうすると、本文中の広域化に関する記述の部分と資料編に記載されている部分とを合わせて「岩

手県ごみ処理広域化計画」という位置づけになるのか、ということが1つと、それと、そうした場合に平成30年3月に策定された指針の方は、どのような取り扱いになるか、ということです。おそらく次期計画に移行していくということになると思うのですけれども。あともう一つ、国の方の通知では、原則として10年間の期間という記述があったかと思うのですけれども、今回のこの計画ですと5年というわけですが、その辺りの位置づけといいますか、進行管理の部分も含めてどのように対応していくつもりなのか、その辺りを聞かせてください。

(事務局) 概要版資料3にも書いてあるのですが、「計画策定の趣旨」のところに「…岩手県ごみ処理広域化計画として策定する」と記載させていただいたとおり、平成30年3月に策定しました指針は次期計画に統合して、移行するという形になります。内容的には指針と変えておりませんので、国の通知では、ごみ処理広域化計画について10年で見直すことになっていますが、ごみ処理広域化計画も含めて、県としては定期的に5年なり、必要に応じて見直すということにはなると思います。ただ、この循環型社会形成推進計画自体も10年スパンでつくってもよいということになっておりますので、今後、計画のスパンは今まで全て5年でやっておりましたけれども、この辺りの見直しも検討していきたいと考えております。

(事務局) 御参考といたしまして、資料5の1ページに計画の変遷を示した図を入れさせていただいております。森田委員から御指摘がありましたとおり、ごみ処理広域化計画につきましては、平成29年度のごみ処理広域化指針にその内容が引き継がれて、指針が今回の太枠になっております今議論中の計画に引き継がれるというイメージです。

- (佐藤委員) 資料4の38ページのところなのですが、下段の方の下線部のところで環境白書の記載なのですが、平成18年度とずいぶん古いのではないかと思います。その辺はどうでしょうか。

(事務局) 委員の御指摘はごもっともなのですが、世帯の構成人員や世帯数と一人当たりごみ排出量の関係についてデータと併せてある程度オーソライズされた文章で公表されているものが、事務局でさかのぼった結果、最新のものが平成18年でしたので、掲載しました。

(笹尾部会長) 一般向けの媒体としては、もう少し新しいリファレンスがあれば、検討してください。

(事務局) あらためて、もう一度最新のものを確認させていただきます。

- (前田委員) 「メタンガス回収」という文言が資料4の14ページと56ページ、60ページにあるのですが、あまり専門家は「メタンガス回収」という言葉を使わず、「メタン発酵」ですとか、「バイオガス化」とかという言葉を使用することが多いです。結局「回収」というと、含まれているメタンガスを回収するという概念になってしまって、

ちょっと語弊があると思います。もし、行政側の決まりで縛りがないのであれば、「メタン発酵」ですとか、「バイオガス化」という表現を使用した方が、通りやすい表現になると思います。

(事務局) 14 ページの 3 行目の「メタン回収」については、「メタン発酵」と修正させていただきます。そして、56 ページの「メタン化施設」を「メタン発酵施設」に、そして 60 ページ中ほどの「メタン回収設備」を「メタン発酵施設」修正させていただくことでよろしいでしょうか。

(笹尾部会長) 14 ページの記述に関しては、一般の方に分かりやすいように、例えば「メタン発酵による熱回収」とか、「…発電」という表現の方が分かりやすいのではないのでしょうか。

(前田委員) そうですね。「回収」という言葉を使うのであれば「メタン発酵によるエネルギー回収」というような表現だとよいです。

(笹尾部会長) 一般の方だと「堆肥化」と並ぶ表現だと分かりやすいのだと思いますので、「…発電」というように具体的に書いた方が、分かりやすい表現だと思います。

(事務局) それでは 14 ページの 3 行目につきましては、「…堆肥化や『メタン発酵によるエネルギー回収』等が行われています。」というような形にさせていただきます。